

学校だより みんなの森合小

～自分の考えをもつ力 人を大切にする力 自分を表現する力 チャレンジする力～

NO. 2【懇談会資料】

令和4年4月26日

発行者

森合小学校長 渡邊かほる



森合小を、みんなで創る学校に！

～子ども、教職員、保護者、地域住民の自分事として創る「森合小」～



令和4年度がはじまって、約2週間。子どもたちは、入学・進級した学年で、喜びいっぱい、新たな気持ちで、日々の学びに取り組んでいます。授業参観では、このように張り切っている子どもたちの姿を見ていただきたかったのですが、新型コロナウイルスの感染予防及び感染不安解消のために、授業参観とPTA専門部会を中止し、懇談会をリモートに変更いたしました。保護者の皆さんの、ご理解とご協力に心より感謝いたします。

さて、令和4年度の学校経営については、下記の通りです。また、裏面には、「グランドデザイン」を掲載いたしましたので、ご覧ください。森合小は、みんなで創る学校として、今年度もパワーアップしていきます。

令和4年度 学校経営

【基本的な考え】

- ◎ 誰一人として取りこぼすことのない、**すべての子どもの学習権を保障**する。
 - ・ 地域の子供が通う公立学校であることの意味について再確認し、誰一人として取りこぼすことなく、学校に通い学ぶことを最優先にします。特別に支援を要する子どもも含めて、子供一人一人の違いや特質を個性と捉え、すべての子どもにとって「安心な居場所」になるよう最善を尽くします。
- 地域住民・保護者・子供・教職員のすべてが、**「みんなの学校」をみんなで創る**。
 - ・ 学校は、長い間、その地域で大切にされ、地域の人々を育ててきた「地域の宝」であることを自覚し、地域住民・保護者・子ども・教職員のすべての人々が、自分事として関わるように、いつでも、誰にでも学校を開放し、「みんなの森合小」を目指します。
- ESD(SDGs)の理念でカリキュラムマネジメントを編成し、**「持続可能な社会の創り手」**を育成する。
 - ・ 変化の激しい変化、予測困難な時代は正解が一つではなく、他者と納得解を見出していく力が必要である。「新型コロナウイルス」の出現に伴い、現在進行形ともいえる事態です。「持続可能な社会の創り手」という意識で、教育を進めていきます。

森合小学校は どの子も安心できる居場所

結果ではなく過程が大事

- ・ 結果で評価しません。
- ・ 失敗は、やり直しできます。

全職員が全校生の担任

- ・ 担任ではなく担当とします
- ・ 全職員で対応します。

子どもが育つ学校

- ・ 子どもを育てるから脱却します。
- ・ 指示や指導ではなく
教師や大人は伴奏者です。

【学校開放日の設置】

- ・ 5・9・1・2月の10日。2～5校時に保護者等が自由に学校を参観する日とします。学校を開放し「みんなの森合小」を目指します。

【大切な約束】

- 相手が **いやがることはしない、**
言わない
- ・ **自分や友達の心と体を大切にする**

【教科担任制】

- ・ 主に学年の中で、先生方が担当する教科を分担して授業をしていきます。今年度は、できるところから少しずつチャレンジしています。

【「みんなの森合小」メンバー募集】 ・「地域の学校である『みんなの森合小』を、教職員と保護者や地域の方々の手を取り合って創っていく」「できる人が、できる時に」という理念に賛同し、楽しんで参加していただける方「子どもから学ぶ」という考えに賛同してくださる方を募集しています。只今、7名程度の方が、申し込んでくださっています。

【発揮する4つの力】～予測困難な時代に必要な力を、発揮するような教育を進めていきます～

自分の考えをもつ力

自分を表現する力

人を大切にする力

チャレンジする力

<学校だより発行>「みんなの森合小」__月第1週・第3週に予定 HP掲載(ペーパーレス化予定)
<森合小HP掲載>福島市公立小中特別支援学校ポータルサイトに 週2～3回 Blog掲載予定
森合小学校は、大切な地域の宝、そして地域の誰もが通える「みんなの学校」です。地域、保護者、子ども、教職員など学校に関わる全ての人で、創っていくために、情報を発信していきます。

QRコード

